

安全点検 6区 (南堀)

<危険な箇所とその概要>

1. 交通上の危険箇所

- ① 朝陽駅から南へ約 50 メートル付近は道幅が狭い上に横断歩道がなく、朝夕は交通量が多いため、横断には注意が必要。
- ② カーブミラーはあるが、東から西へ横断する際には見通しが悪いので、道路の横断には注意が必要。
- ③ 信号がなく交通量も多いため、道路の横断には注意が必要。
- ④ 踏切は、線路に降りて遊ぶ子がいるので危険である。
- ⑤ 線路のない所を渡る子がいるので危険である。
- ⑥ 信号がなく交通量も多いため、道路の横断には注意が必要。
- ⑦⑧道幅が狭く交通量も多いため、道路の横断には注意が必要。
- ⑨ 踏切から南へ 20 メートル付近は、横断歩道がなく見通しも悪いため、道路の横断には注意が必要。
- ⑩ 交通量も多く、店舗に出入りする車が多いので、特に注意が必要。
- ⑪ 白線が車道に近く交通量も多いため、信号待ちには注意が必要。

2. 水難上の危険箇所

- ⑫ 用水路は、幅は狭いが深く、フェンスが途中で切れているので危険である。
- ⑬ フェンスのない所からお堀に出て遊ぶ子がいるので危険である。

3. 校外指導上の注意

- * 全体的に道幅が狭い上に交通量が多いため、信号が青になっても必ず左右を確認してから横断する。
- * 集団登校は列を崩さず並んで歩く。また、下校時は気がゆるんでいるので、特に注意しながら、決められた通学路を帰る。
- * 外灯が少ない通学路は、日の短い時期などは特に注意する。
- * 各家庭で危険な場所を子供と共に確認し、事故防止の指導をしてあげることが大切である。